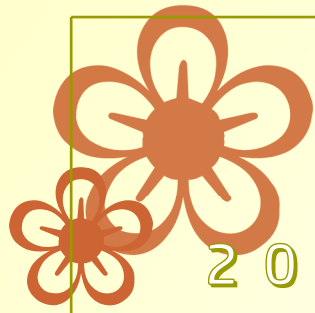




2024年

個々のスキルを活かし キャリアの可能性を広げる 魅力的な働き方

新年明けましておめでとうございます。

今回は、皆さんの将来の働き方についてお話してみましよう。

日本の企業の場合、これまでは、人材を確保してから働く場所（部署）を決めるやり方で、定年まで同じ企業で働くことが多いのが特徴です。皆さんの周りの方はどうですか？ このような雇用を、「メンバーシップ型雇用」とか終身雇用と呼んでいます。この「メンバーシップ型雇用」は欧米諸国では一般的ではないようです。また、仕事に対して人材を雇用していないので、新しい技術や知識を取り入れるのが難しく、急速な変化や柔軟性が求められる産業分野（IT・テクノロジー分野、デジタルマーケット、バイオテクノロジー・医療分野等）には向いていないようです。どうも日本の企業も人材の確保の考え方を換えようとしているようです。企業が、いま必要としているスキル、経験、資格などを持った人材を雇用しようとするもので「ジョブ型雇用」と呼んでいます。

「ジョブ型雇用」では仕事の内容が明確にされているため、自己責任が求められます。また、成果主義になりますので大変なように思えます。その反面、柔軟なスケジュールやリモートワークの機会も増えて、仕事とプライベートのバランスも調整可能です。自分のライフスタイルに合わせた働き方が可能になるでしょう。様々なプロジェクトや仕事に参加することができ、異なる分野やスキルを経験し、自分の才能や興味を探究できます。これにより、自分の可能性を広げ、将来のキャリアの選択肢を増やすことができます。とても魅力的ですね。

「ジョブ型雇用」の魅力をお分かり頂けたでしょうか？ 中学生、高校生の皆さんが就職する時には「ジョブ型雇用」が主流になっているかもしれません。いまからでも、柔軟性や多様性、自己成長の機会を求めながら、日々の勉学に励みつつ、ボランティアやイベントにも参加してみるのはいかがでしょうか。将来の可能性を広げ、自分の夢に向かって積極的に挑戦してみてください。

（東京都市大学 田口 亮）